

教育行政執行方針

(要旨)



少子高齢化やグローバル化が急速に進展する中で、活力ある地域社会を実現していくためには、一人一人がより主体的に社会と関わり、次代を創り出していく力を身に付けることが必要であり、教育が果たす役割はますます重要になってきています。

こうした中、中央教育審議会においては、新しい時代の教育や学校の在り方、地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方などについて審議が進められています。

教育委員会としましては、これらの動向をしっかりと見極めながら、子どもたちが社会の変化に対応し、新しい時代を切り開く『生きる力』の育成に努めるとともに、市民誰もが主体的に学び続け、その成果を生かすことのできる、活力ある生涯学習社会の実現を目指してまいります。

●学校教育

当市においては、知・徳・体の調和のとれた子どもたちの育成を目指して、学校や家庭、地域、行政が連携した『地域とともにある学校』づく

り』を推進しています。昨年開催した教育フォーラムでは、『コミュニティ・スクールに関わる方が一堂に集まり、社会全体で子どもを育てる意識の共有を図ることができましたので、今後とも各学校の運営協議会の活動が円滑に進むよう支援をしていきます。

また、土曜日における豊かな教育環境を子どもたちに提供するため、幌別中学校を実践校、他の学校を協力校として、引き続き土曜授業を実施します。



▲土曜授業で郷土芸能『幌別駒おどり』を練習する幌別東小学校の児童

●確かな学力の向上

全国学力・学習状況調査において、小・中学校ともに一部の教科で全国の正答率を超えるなど、各学校の取り組みが着実に成果となって表れてきています。今後各校長会と共同で設置している教育課程課題検討委員会で協議をしながら、指導の改善に努めていきます。

また、学力の二極化などの課題に対応するため、学校が取り組む補充学習に加え、学習支援室や地域の方による『放課後学習教室』の充実を図り、児童生徒の基礎学力の定着や学ぶ意欲の向上に努めていきます。学力向上の一端を担う読書活動については、朝読書活動や図書ボランティアによる読み聞かせの充実とともに、『学校図書館担当者・学校図書ボランティア連絡会議』を活用した情報の交流に努め、学校図書館の活性化を図っていきます。

また、学校図書館司書の配置は、児童の図書室利用や本の貸し出し冊数が大幅に増えるなど、大きな効果

を上げていますので、引き続き学校図書館機能の充実に努めていきます。

●教職員の指導力の向上

研究実践奨励校の指定や巡回指導教員活用事業、地域連携研修事業などを通じて指導方法の工夫・改善に取り組むとともに、ICTの活用や、能動的学習（アクティブ・ラーニング）など、望ましい指導の在り方を研究していきます。

また、『学校力向上に関する総合実践事業』の成果が、各学校に波及されるよう支援していきます。

●豊かな心の育成

読書活動や人権教育、道徳教育の充実を促し、命を大切にする心や他人を思いやる心、自律心や規範意識などの醸成に努めていきます。



▲学校司書による鶯別小学校での大型絵本読み聞かせ会